

第24部

Asian Internet Interconnection Initiatives

横山 輝明

本ドキュメントは、AI3 WGの2013年度の活動報告である。

第1章 はじめに

AI3(Asian Internet Infrastructure Initiatives)ワーキンググループは、アジア地域におけるインターネット基盤や人的ネットワークの整備と、それらのつながりのうえでの人材交流や共同研究を実施している。インターネット基盤技術として衛星インターネットを運用しながら、衛星インターネットに関連する技術からそれ以外の技術まで、さまざまな研究開発にも取り組んでいる。

第2章 2013年度のAI3 WGの活動概要

AI3では、共同運用するネットワークの情報共有や共同研究の促進のために年に2回の定例ミーティングを実施している。今年は、4月にカンボジアのプノンペン、10月にミャンマーのマンダレーにてミーティングを実施した。

2.1 定例ミーティングの実施

2.1.1 プノンペンミーティング

2013年5月27日から29日に、カンボジアのプノンペンにあるInstitute of Technology of Cambodia(ITC)にて定例ミーティングを開催した。各パートナーのネットワーク運用の状況報告と今後のネットワーク運用について議論した。ミーティングの詳細は、以下のWebサイトに掲載する。

<http://meeting.itc.edu.kh/index.php>

2.1.2 マンダレーミーティング

2013年10月27日から29日に、ミャンマーのマンダレー

にあるUniversity of Computer Studies,Mandalay(UCSM)にて定例ミーティングを開催した。各パートナーのネットワーク運用の状況報告と今後のネットワーク運用について議論した。各拠点において実施中の研究報告や、W3Cから招いたゲストスピーカーによるHTML5技術の紹介、遠隔講義支援システムWASABIの開発プロジェクトの呼びかけなどの内容が報告された。ミーティングの詳細は、以下のWebサイトに掲載する。

<http://www.ucsm.edu.mm/index.php/meeting-program>

第3章 共同研究: WASABIの開発

AI3ではSOI (School on the Internet)グループと協力して遠隔講義を提供している。これまでの遠隔講義の提供の経験を通じて、より円滑な遠隔講義の実施のためには遠隔講義を支援するWebサービスが必要だと認識に達した。そこで、必要とする遠隔講義支援Webサービスの開発に取り組む。開発するWebサービスはWASABI(Web Architecture for SOI Asia Broadband Infrastructure)と呼称する。WASABIは、HTML5/CSS/Javascriptなどの近年のWebサービス開発に重要な技術によって構成されるWebベースのアプリケーションである。WASABIは、遠隔講義に必要な講義中継や双方向チャットなどのやりとりを提供する。

このWASABIの開発をパートナー大学との共同開発プロジェクトとして実施する。Webサービス開発そのものが、HTML5/CSS/Javascriptなどの重要技術の学習と共同開発を経験するコラボレーション機会として利用する。参加校を募り、開発は来年2月25日のワークショップより

開始する。本開発の結果については来年度報告する。

<http://www.soi.asia/lectures/categories/87-technology/313-wasabi-web-development-workshop>

第4章 まとめ

東南アジア地域におけるブロードバンド環境も充実してきているが、いまだインターネットアクセス困難な地域が残されている。また、災害などの状況下におけるインターネットアクセス手段の提供も重要な課題となっている。AI3では、これらの問題に 대응するために今後も衛星インターネットインフラの運用と利用簡便化について研究開発を進める。また、衛星通信に限らず、我々の人的ネットワークを通じた共同研究などの活動についても積極的に取り組む。